

平成29年度学校評価 自己評価の結果について

桐生市立境野小学校

1 境野小学校のこれまでの取組

境野小学校では、学校教育目標の達成を目指し、様々な取組を行ってきました。主な取組は以下のようです。

<学校教育目標>

ゆたかな子 たくましい子 かしこい子

<主な取組>

I 保護者との連携

- 「〇〇だより」などの定期的な発行。 魅力的な学級・学年懇談会の工夫。 など

II 確かな学力

- 個に応じた指導。朝読書の推進。「学びウィーク」の実施。「放課後学習教室」の開催。 など

III 豊かな心

- 人権アンケート等による実態の把握、Q-U検査の実施・活用、問題の早期発見。
あいさつ運動の実施。 道徳の時間の充実。 など

IV 健康・体力

- 学校・保健だより等による啓発。 休み時間には外で遊ぶよう呼びかける。 など

V 安全確保

- 毎月の安全点検の実施。 各種避難訓練の実施。 職員及びPTAによるパトロールの実施。
集団下校・一斉下校の実施。 「境野小よい子のきまり」の指導の徹底。 など

VI 夢や希望

- 「志プロジェクト」の実施。夢や希望について考える機会の確保。 など

2 自己評価の結果

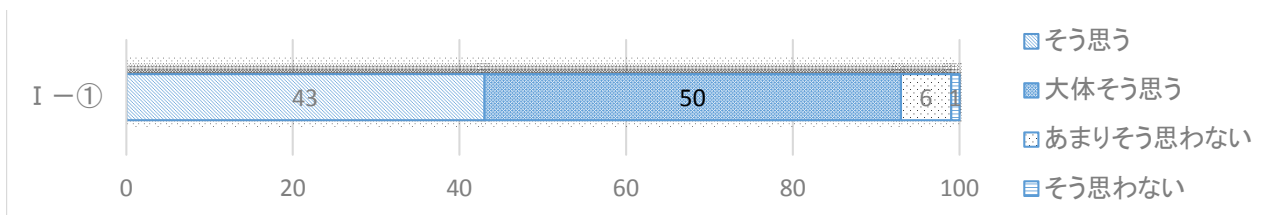
上記のI～VIのことについて、それぞれ評価項目を設けました。そして、取組状況は十分であったか、子どもたちが望ましい姿に変容したかなど、各項目について保護者や教員、子どもたちにもアンケート調査を行いました。

(1) アンケート調査の結果

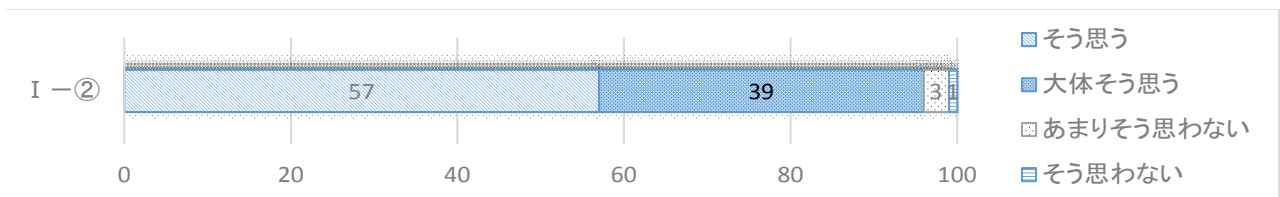
() 内は、調査対象者。

I 保護者との連携

I-1 学校・学年通信は、学校の様子や取組が分かりやすい。(保護者)

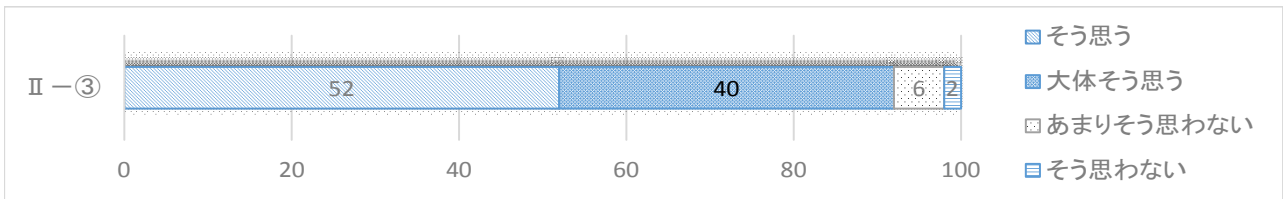


I-2 授業参観等の学校行事によく出席している。(保護者)

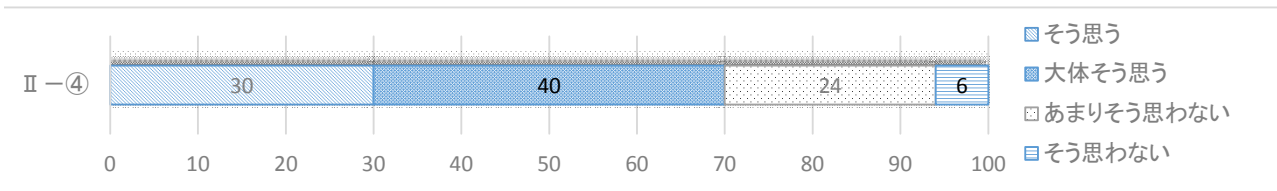


II 確かな学力

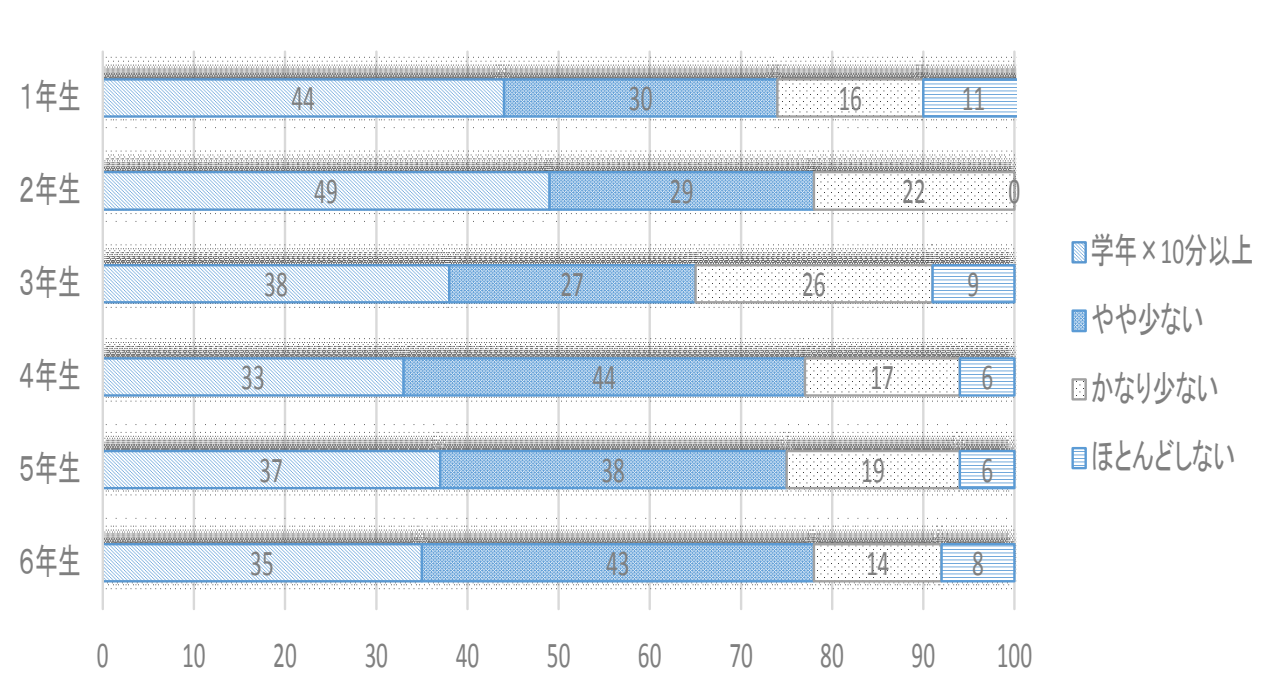
II-3 学校の授業は、分かりやすい。(児童)



II-4 お子さんは、宿題を含めて〔学年×10分くらい〕学習や読書をしている。(保護者)

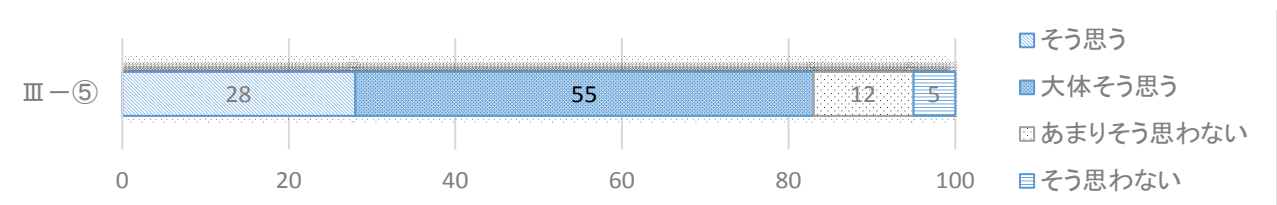


家では、毎日宿題や自主勉強をどのくらいしていますか。(児童)

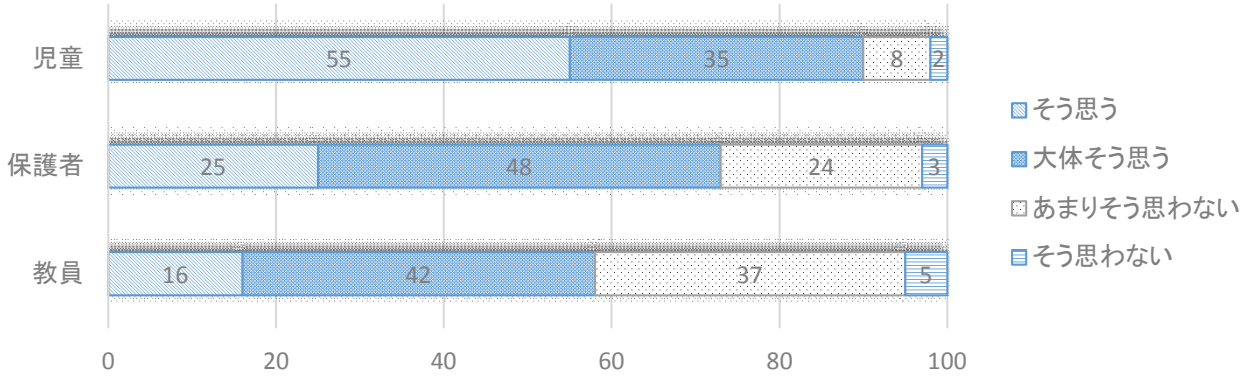
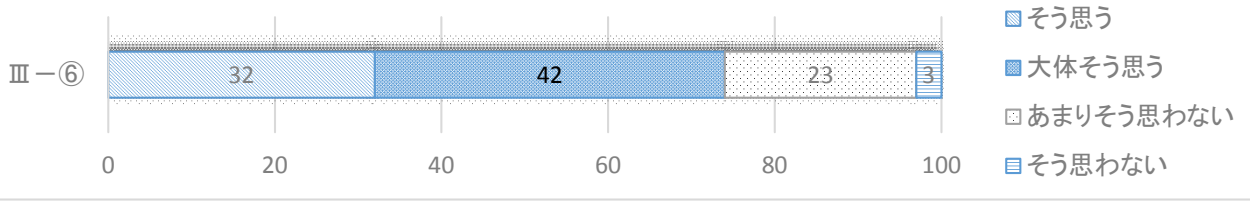


III 豊かな心

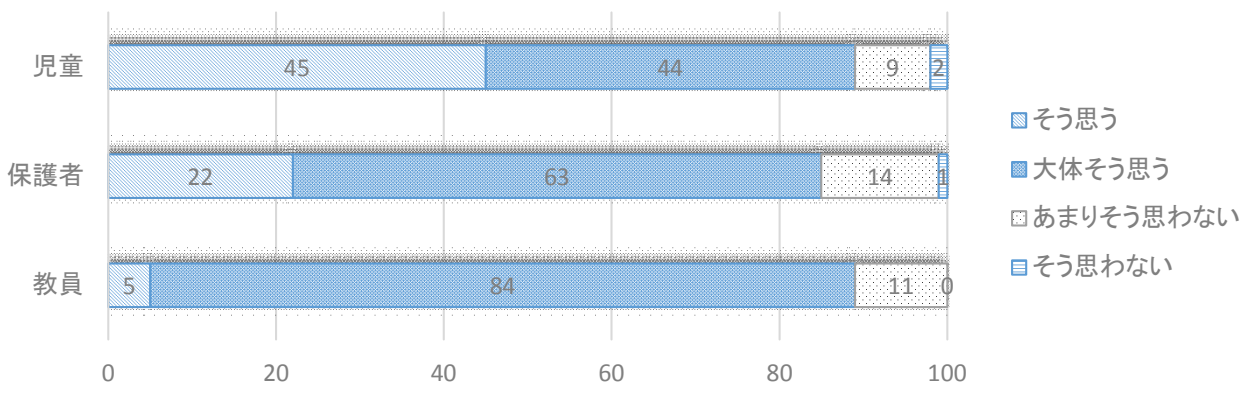
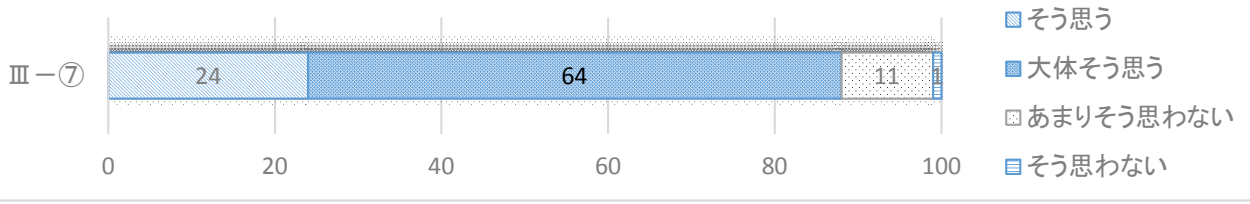
III-5 いじめのない温かな人間関係が育っている。(保護者)



Ⅲ-6 進んであいさつをすることができる。(児童・保護者・教員)

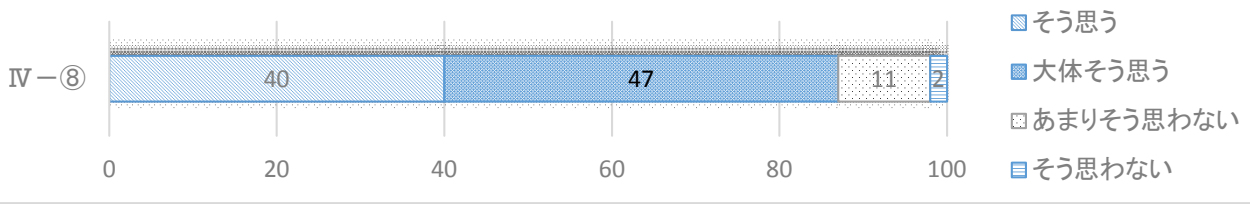


Ⅲ-7 相手の立場や気持ちを考えた行動がとれる。(児童・保護者・教員)

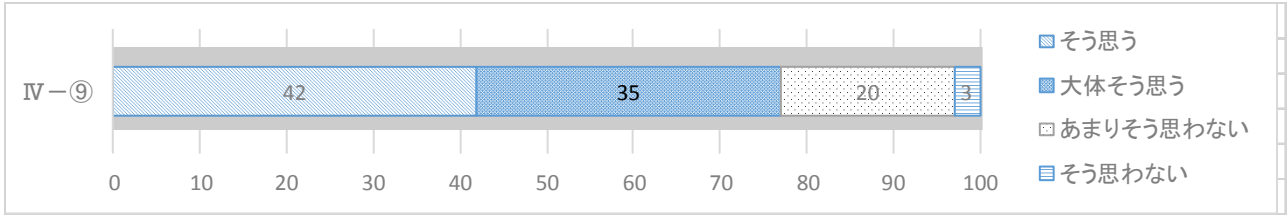


Ⅳ 健康づくり

Ⅳ-8 食事や睡眠をとり、規則正しい生活を送っている。(保護者)

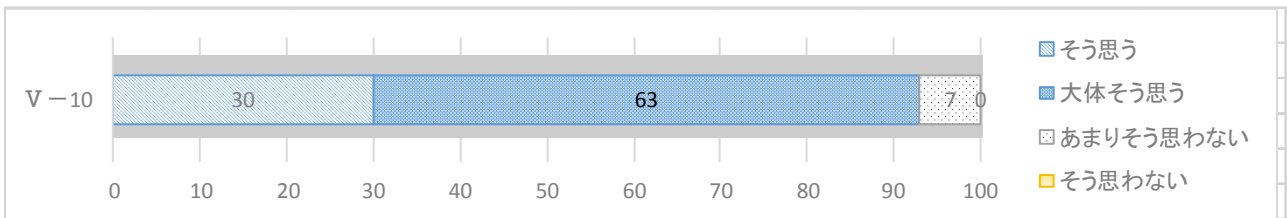


IV-9 日頃から外で遊んだり、運動したりしている。(保護者)

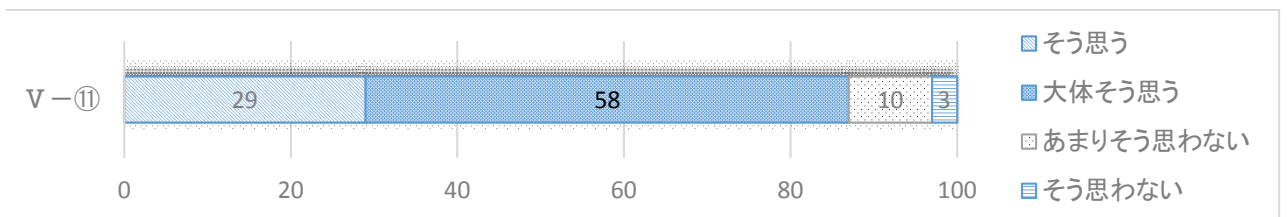


V 安全確保

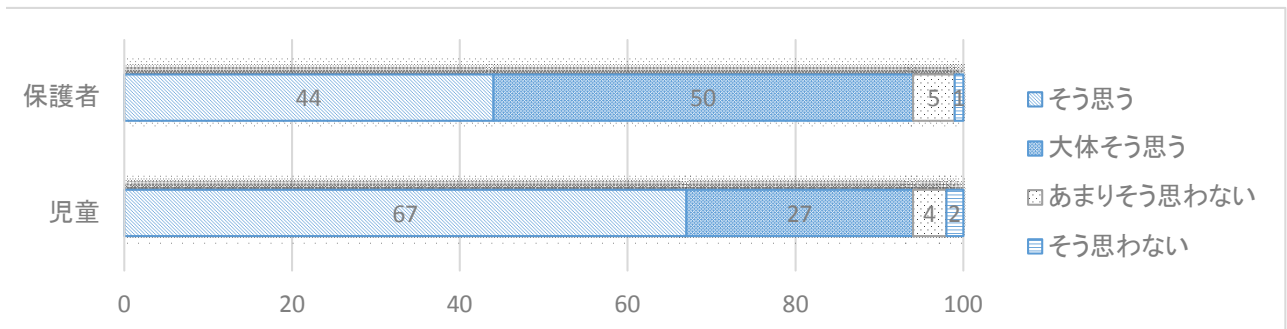
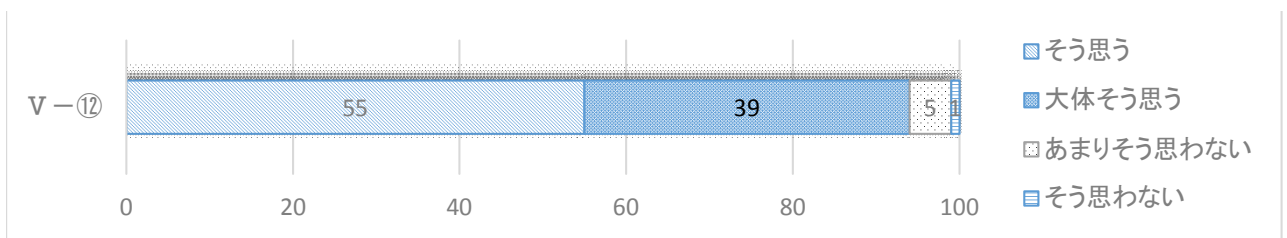
V-10 境野小は、施設の安全や避難訓練などの対策が十分にされている。(保護者)



V-11 境野小は、登下校の安全対策がとられている。(保護者)

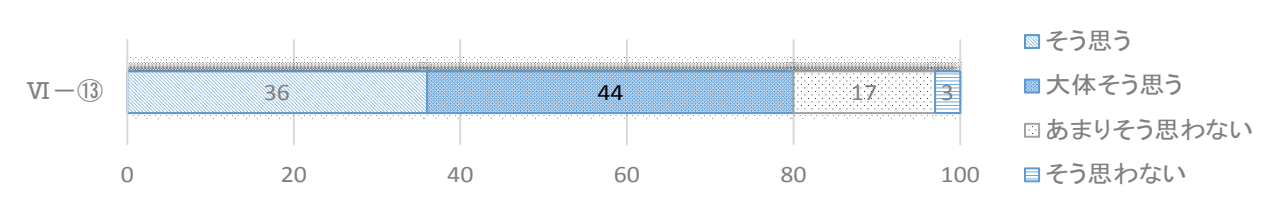


V-12 お子さんは、外出の際、行き先や帰宅時刻を知らせたり、やってはいけない行動を理解したりできている。(保護者・児童)



VI 夢や希望

VI-13 将来の夢や希望を育んでいる。(保護者)



(2) アンケート結果の分析

I 家庭との連携

昨年度同様、「公開授業が縮小されたことが残念」との意見がありました。昨年度中に検討した結果、「参観者がとても少ない」「子供が落ち着かない」等の理由で5校時のみとしました。ご理解願います。

学級懇談の持ち方に関するご意見もありました。本校では、教師からの情報伝達中心で保護者が受け身になっていた懇談会を見直し、保護者の抱えている子育ての悩みなどを出し合い、その解決に向けて、保護者同士が共に学び合い成長できる場とするなど、保護者が主体的に参加できるような懇談会を模索してきました。まだ、十分でないかもしれませんが、ご意見をください。

II 確かな学力

境野小では、〔学年×10分〕の家庭学習を奨励しています。本年度、その目標を達成した児童は4割に達しません。「全国学力・学習状況調査」では、全国の6年生の6割以上は「毎日1時間以上、家庭学習をしている」ということです。

「境野小だより」の11月号に書いたように、授業での学習内容を定着させるために、家庭学習はとても重要です。家庭学習の中身は、漢字書き取りでもよいし、計算練習でもよい。お料理の好きな子は、おいしそうな料理のレシピを調べてまとめるのもよいし、社会の好きな子だったら、地球儀や地図帳を見ながら外国のことを調べるのもよいでしょう。家庭学習では、自分の好きなことを勉強してよいのです。

でも、ある程度の時間、連続して行うことが大切です。下の<10の掟>を守って、毎日続けたら、必ず学力は高まります。

- 1 家庭学習専用のノートをつくるべし。
- 2 ノートには日付を書いて、毎日行うべし。
- 3 ノートに書くときは、「1マスに1文字」を基本とすべし。
- 4 テレビなどは消して、静かな環境の中で行うべし。
- 5 机の上には必要なものだけを置き、机のまわりを整とんすべし。
- 6 よいしせいで取り組み、字はていねいに書くべし。
- 7 道具（えんぴつ、消しゴム、下じき、じょうぎ など）は正しく使うべし。
- 8 答えがあるときは、自分で答え合わせをすべし。
- 9 まちがえた問題は、かならずもう一度やるべし。
- 10 ノートは、人に見せることを意識し、わかりやすく見やすい工夫をすべし。

III 豊かな心

一昨年度より桐生市では、5・6年生を対象に「Q-U」という心理検査を行っています。これは、児童一人一人の学級生活での満足度や意欲などを調べ、学級集団の状態を把握することで、学級経営に役立てようとするものです。

また、児童会や各学級で、児童主体のいじめ防止キャンペーン（呼び方はいろいろです。）を行っています。教師に注意されるだけでなく、子供自身が自分の問題として意識し、自分たちで話し合うなどして解決していくような主体性が重要と考えています。これからも児童の主体性を重視しながら、いじめのない温かな人間関係づくりを行っていきます。

「(子どもや先生の)言葉遣いがよくない」とのご指摘もありました。「あいさつ」も引き続き課題です。子供たちは9割の子が「あいさつをしている」と答えています。でも、あっちの方を向いていたり、声がほとんど聞こえなかったり、友達との会話に夢中になっていたり…、そんなことで、ときには「私を無視してる？」と思うことがあります。そうかと思うと、授業中に必要以上の大声でおしゃべりをしていたり…。これは、「時や場に応じた適切な行動がとれていない」ということではないかと思えます。

言葉遣いもしっかり。同じ友達に話すにも、休み時間と授業中では、言葉遣いや話し方が異なります。先生や目上の人と話すときも、友達と話すのとは異なります。まずは今、どういう状況なのかを把握し、それに応じて自分の行動の仕方を考える必要があります。

校長室掃除に来る6年生は、さすがというか、ドアをノックし、「失礼します。掃除をしに来ました。」と入ってきたり、電話がかかってくると、掃除機を止めて電話の音が聞き取りやすくなりするなど、時と場に応じた適切な行動がとれます。

各学年で、時と場に応じた適切な行動がとれるよう指導したいと思います。

IV 健康づくり

運動をする子としない子の二極化が進んでいます。

生活習慣については、全国学力・学習状況調査からは、「ゲームやテレビ、インターネットなどに費やす時間が多い」という結果が出ています。

今から3年くらい前に見付けた記事ですが、スマホの父であるスティーブ・ジョブズ氏は、「うちの子どもは、(iPadを)使ったことがないんだよ。家では、子どもたちがテクノロジーを使う時間を制限しているからね。」と話しているそうです。他のIT企業経営者も、「10歳以下の子どもは、最もデバイス中毒になりやすいので、平日にこれらのデバイスを使うことを禁じている。」とか、「一番のルールは、寝室にスクリーン（スマホやゲーム等）を持ち込まないこと。これは例外なしです。」などと言っているとのこと。

前述の家庭学習も含めて、家庭での過ごし方について、ぜひ話し合ってみてください。

V 安全対策

「各町会で下校時の見守りをしてくださっていることに感謝します」というご意見が多数ありました。学校としても感謝しています。ありがとうございます。

VI 夢や希望

学習や生活への意欲を高めるために、夢や希望はとても大切なものです。夢や希望の持てない子にとって、勉強は苦痛なだけかも知れません。みんなで学ぶ楽しさを味わわせるとともに、好きなこと得意なことを伸ばしていきたいと思えます。

(3) 来年度の重点目標

上記の分析から、以下の2つを来年度の重点目標に設定したいと思います。

- ① すべての児童が「宿題を含めて〔学年×10分〕以上、学習や読書をしている」と答えることを目指す。
- ② 「進んであいさつをすることができる」と答える保護者及び教員80%以上を目指す。